

INTERMOLD 2018 金型展2018

■主催／一般社団法人日本金型工業会・テレビ大阪

JAPAN METAL STAMPING TECHNOLOGY EXHIBITION

金属プレス加工技術展

■主催／一般社団法人日本金属プレス工業協会

2018年4月18日(水)⇒21日(土) 10:00⇒17:00 ※ただし最終日は16:00まで

インテックス大阪 〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-5-102 ￥1,000 (税込) ※13歳未満の方は入場できません。

※招待券持参者および事前来場登録者は無料。
※当日の参加費は別途要です。
※当日キャンセルがある場合、当日受付を行う場合があります。

■運営／インターモールド振興会 〒540-0008 大阪市中央区大手前1-2-15 株式会社テレビ大阪エクスプロイ TEL:06-5944-9911

特別企画 試作・デザイン・解析 & 3Dプリンティングフェア 鍛造加工技術フェア 精密仕上げ加工 & ハリ取り・研磨加工技術フェア 自動車部品製造技術フェア 熱処理・表面処理フェア 航空機部品製造技術フェア

基調講演（事前登録制 ※ホームページよりご登録ください。）

『ダイハツ流コンパクトカーづくりの本質と進化(深化)』 ～経営者として学んだこと、これからへの想い～

お客様の要求の厳しいコンパクトカービジネスにおいて、ダイハツが「軽で事業が成立するビジネスモデルの構築」に向け、大切に続けてきた考え方と、取り組んできた構造改革の事例を紹介します。また、100年に一度といわれる大変革期を、ダイハツとして勝ち残っていくための方向性として、昨年3月に発表した中長期経営シナリオ「D-Challenge2025」で定めた、「モノづくり」と「コトづくり」の取り組みと、それを通じた「ヒトづくり」に込めた想いについてもお話させていただきます。少しでも皆様活動にヒントになれば幸いです。

■講師／ダイハツ工業株式会社 取締役会長 三井 正則 氏

■日時／4月18日(水) 11:00～12:30

■会場／インテックス大阪 国際会議ホール ■定員／約350名(聴講無料、事前登録制)

※事前登録者のみの聴講となります。

※当日キャンセルがある場合、当日受付を行う場合があります。



来場者登録欄（ご記入の上、登録所でご提出いただければ、入場料（1,000円(税込)）が無料となります。） アンケートにお答えください

所在地をお選びください。▼

☐ 北海道地区 ☐ 東北地区 ☐ 関東地区 ☐ 北陸地区 ☐ 中部地区
☐ 近畿地区 ☐ 中国・四国地区 ☐ 九州・沖縄地区 ☐ OVERSEAS(海外)

ご登録の展示会をお選びください。▼

☐ INTERMOLD 2018 ☐ 金型展2018 ☐ 金属プレス加工技術展2018

貴社が該当する業種

☐ A.プレスメーカー ☐ B.成形加工メーカー ☐ F.その他

☐ C.金型・成形金型 ☐ D.金型・成形金型 ☐ E.金型・成形金型

▶該当する分野または関連する分野【1】(複数回答可)

☐ A.プレス金型 ☐ B.鍛造金型 ☐ C.鋳造金型 ☐ D.鍛造金型

☐ E.ガラス金型 ☐ F.プラスチック金型 ☐ G.ゴム金型 ☐ H.ゴム金型

☐ I.射出成型金型 ☐ J.その他

▶該当する分野【2】(複数回答可)

☐ A.自動車・自動車部品 ☐ B.半導体・電子機器関連 ☐ C.航空・宇宙産業

☐ D.食品・包装容器関連 ☐ E.建設・土木関連 ☐ F.農業・畜産関連

☐ G.文具・文房具関連 ☐ H.生活家電・生活電器関連 ☐ I.品質管理

☐ J.情報システム ☐ K.マーケティング ☐ L.総務・経理

☐ M.その他

▶該当する所属部署

☐ A.経営・経営企画 ☐ B.購買 ☐ C.営業・販売 ☐ D.研究・開発

☐ E.設計 ☐ F.製造 ☐ G.生産管理 ☐ H.品質管理

☐ I.品質管理 ☐ J.情報システム ☐ K.マーケティング ☐ L.総務・経理

☐ M.その他

▶該当する役職

☐ A.代表・経営者 ☐ B.役員 ☐ C.部長・次長 ☐ D.課長

☐ E.部長・主任 ☐ F.一般社員 ☐ G.その他

所属する企業の規模は？

☐ A.10名未満 ☐ B.10～49名 ☐ C.50～99名 ☐ D.100～499名

☐ E.500～999名 ☐ F.1,000～4,999名 ☐ G.5,000～9,999名 ☐ H.10,000名以上

▶所属する業種の目的は？

☐ A.新製品の開発 ☐ B.新製品の開発 ☐ C.新製品の開発

☐ D.新製品の開発 ☐ E.新製品の開発 ☐ F.新製品の開発

☐ G.新製品の開発 ☐ H.新製品の開発 ☐ I.新製品の開発

☐ J.新製品の開発 ☐ K.新製品の開発 ☐ L.新製品の開発

☐ M.新製品の開発

▶貴社の設備導入・製品購入・選定に関してどのようにお考えですか？

☐ A.設備導入・製品購入を決定するため ☐ B.設備導入・製品購入を決定・提案するため

☐ C.設備導入・製品購入を決定・提案するため ☐ D.設備導入・製品購入を決定・提案のため

☐ E.設備導入・製品購入を決定・提案のため ☐ F.設備導入・製品購入を決定・提案のため

☐ G.設備導入・製品購入を決定・提案のため ☐ H.設備導入・製品購入を決定・提案のため

☐ I.設備導入・製品購入を決定・提案のため ☐ J.設備導入・製品購入を決定・提案のため

☐ K.設備導入・製品購入を決定・提案のため ☐ L.設備導入・製品購入を決定・提案のため

☐ M.設備導入・製品購入を決定・提案のため

▶今後、貴社の事業にとって重要となるキーワードを教えてください。

【例】適合加工、微細加工、ナノテクノロジー、自動化、航空・宇宙産業、燃料電池など

▶実際のまっかひは？

☐ A.ダイレクトメタル ☐ B.射出成型 ☐ C.鍛造

☐ D.鍛造 ☐ E.鍛造 ☐ F.鍛造

☐ G.鍛造 ☐ H.鍛造 ☐ I.鍛造

☐ J.鍛造 ☐ K.鍛造 ☐ L.鍛造

☐ M.鍛造

※ご登録の方は、今後本展示会の主催者・主催事務局の開催する関係者セミナー、各種イベントに関するご案内をさせていただきます。本展示会の個人情報提供に関するお問い合わせは、お問い合わせ先へお問い合わせください。本展示会のメールアドレスに「お問い合わせ」を付したメールを送信してください。

テクニカル・ワークショッププログラム【順不同】

■場 所:テクニカル・ワークショップ第1会場／テクニカル・ワークショップ第2会場

■受講:無料 ■定員:各約100名

(注)受講方法が各ワークショップによって異なります。公式サイトにて事前にご確認の上ご受講ください。

会場	18日(水)	19日(木)	20日(金)	21日(土)
第1会場	午前① 午後① 午後②	11:00～12:00 調節中 13:00～14:00 (株)セイロジャパン② 15:00～16:00 (株)セイロジャパン③	11:00～12:00 三菱電機(株) 13:00～14:30 (株)東京精密 15:00～16:00 ブルーム・ノボテスト(株)	11:00～12:00 金型シンポジウム(仮) 未定 13:00～14:00 未定
第2会場	午前① 午後① 午後②	11:00～12:00 (株)C&Gシステムズ 13:00～14:00 (株)アマダマシンツール① 15:00～16:00 オーエスジー(株)	11:00～12:00 大昭和精機(株) 13:00～14:00 (株)アマダマシンツール② 15:00～16:00 (株)セイロジャパン①	11:00～12:00 ダイジェット工業(株) 13:00～14:00 ユニオン ツール(株)

大昭和精機株式会社(小間番号 6B-522) ※同業者の受講はご遠慮ください

「5軸加工機および複合加工機におけるソーリングを考える」

■4月20日(金) 11:00～12:00(第2会場)

営業技術部 次長 高見 隆文 氏

近年、加工現場では加工の高精度化、高効率化または製品形状の複雑化に伴い、5軸マシニングセンターや複合加工機の普及が進んでいます。そのためソーリングにおきましては機械主軸・インターシャスも多様化しており、適正に管理する場合もあります。本セミナーではHSK、BBT、CAPTOなどそれぞれのインターシャスの特徴や、最新のソーリング動向をご紹介させて頂き、ソーリング選定のヒントとなる情報を提供させていただきます。

オーエスジー株式会社(小間番号 6B-502) ※同業者の受講はご遠慮ください

「金型加工のイノベーション」

■4月19日(木) 15:00～16:00(第2会場) デザインセンター加工技術グループ

課長 伊藤 俊氏 / 株式会社金型センター 会長 左甲斐 武久 氏

本日は、貴社から始まる金型加工の進化を紹介。

ユニオン ツール株式会社(小間番号 6B-603) ※同業者の受講はご遠慮ください

「難加工を可能にするエンドミルシリーズのご紹介」

■4月21日(土) 13:00～14:00(第2会場)

技術本部 工具技術部 エンドミル工芸開発課 課長 大崎 英樹 氏

近年、加工現場では加工の高精度化、高効率化または製品形状の複雑化に伴い、5軸マシニングセンターや複合加工機の普及が進んでいます。そのためソーリングにおきましては機械主軸・インターシャスも多様化しており、適正に管理する場合もあります。本セミナーではHSK、BBT、CAPTOなどそれぞれのインターシャスの特徴や、最新のソーリング動向をご紹介させて頂き、ソーリング選定のヒントとなる情報を提供させていただきます。

ダイジェット工業株式会社(小間番号 6B-708)

「難加工、お待ちしています。」

■4月21日(土) 11:00～12:00(第2会場) 技術部技術室切削工具開発課 津曲 達也 氏

金型の切削加工において、被削材の難加工が進んでおり、生産性を向上させるためには難加工加工への対応が求められています。今回は、プレス金型、プラスチック金型、ダイカスト金型と金型に難加工加工の攻略をご紹介します。併せて、加工効率の改善に貢献する新商品もご紹介いたします。

株式会社C&Gシステムズ(小間番号 6B-234) ※同業者の受講はご遠慮ください

「工程管理システム(AIQ Ver1.1)新バージョンのご紹介」

■4月19日(木) 11:00～12:00(第2会場)

CAD開発部 工程管理開発課 課長 田代 勝法 氏

IOT、スマートファクトリーの第一歩として金型、部品製造の工程を管理し設備の稼働率の向上に寄与する当社独自の工程管理ソリューション(AIQ)をご紹介します。

株式会社セイロジャパン(小間番号 6B-225) ※同業者の受講はご遠慮ください

「3次元樹脂流動解析による最新の成形技術への適用」

■4月18日(水) 15:00～16:00(第2会場)

■4月20日(金) 15:00～16:00(第2会場)

Moldex3DソリューションズMoldex3D 課長 田中 久博 氏

成形分野では軽量化、製品品質向上等の市場ニーズに対応し、日進月歩で新技術が展開されています。樹脂流動解析をそれらに適用するため、革新的な新機能開発を行っています。本セミナーでは3次元樹脂流動解析Moldex3Dの最新機能の紹介を行い、最新の成形技術に適用していくための事例を紹介いたします。

「精研自動切削による磨き鏡面加工～Cimatronを使ったハール加工～のご紹介」

■4月18日(水) 13:00～14:00(第1会場)

CimatronSC SECHER 村田 雅博 氏

ダイヤモンドチップによるハール加工は表面加工が可能です。今回は、マシニングに精研自動切削装置を取り付け、3D/CADモデルを元にCimatronで作成したツールパスで金型材をハール切削した事例を紹介します。

「金型3Dプリンタ向けソフトウェア 3DXpertを使用し

Additional Manufacturingを製造で活用していきます。」

■4月19日(木) 15:00～16:00(第1会場)

CimatronSC 部長 池澤 俊氏

Additional Manufacturingを今後のものづくりに活用していく上で、ハードウェアスペックだけでは本当の価値を得ることは出来ません。このセッションでは金型3Dプリンタ向けソフトウェア3DXpertを使用し、モデル形状の最適化や格子構造の作成、サポート設計、スキャン/スライス計算、プリンターへの送信、プリントモデルの3軸/5軸機械加工までの工程全体を紹介します。

ブルーム・ノボテスト株式会社(小間番号 6A-621) ※同業者の受講はご遠慮ください

「加工&計測の複合化と機上自由曲面計測」

■4月20日(金) 15:00～16:00(第2会場)

技術・サービス マネージャー 高坂 齊 氏

劣悪な環境下でも高速・高精度の自動計測が可能なブルーム計測機器は、加工(前/途中/後)の各工程で、生産性向上が実現できます。BLUMが提案する加工機と計測機の複合化と、ワーク加工後の自由曲面自動リフィニッシュをご紹介します。

株式会社アマダマシンツール(小間番号 6B-731) ※同業者の受講はご遠慮ください

①「高生産性・自動化に対応する研削加工機能と加工事例の紹介」

■4月19日(木) 13:00～14:00(第2会場)

研削技術部 研削実証加工GR グループリーダー 三谷 知範 氏

ブラッシュアップによって進化を続けるアマダマシンツールの研削機は、加工(前/途中/後)の各工程で、生産性向上が実現できます。BLUMが提案する加工機と計測機の複合化と、ワーク加工後の自由曲面自動リフィニッシュをご紹介します。

②「バルスモーションを活用したヘリカルギアの

冷間鍛造新工法開発」

■4月20日(金) 13:00～14:00(第2会場)

プレス商品部 プレス販売技術GR エンパー 山本 一 氏

弊社はこれまでアマダ独自のフルスモーションを活用し、冷間鍛造の新工法を開発してきました。今回は、最新の金型修正用ソフトウェア(ZRE)による射出成型品の生産効率化を

紹介いたします。この技術を活用し、株式会社SUBARU様とヘリカルギアの加工工程を取り組み、共同特許取得を、本セミナーでは、この生産効率の向上に取り組む工程内容の概要についてご紹介いたします。

三菱電機株式会社(小間番号 6A-631) ※同業者の受講はご遠慮ください

「ものづくり現場で活躍する超高精度ワイヤ放電加工機

「IMP D-CUBESシリーズ」/最新技術を紹介した新世代次世代形放電加工機」

■4月20日(金) 11:00～12:00(第1会場)

放電製造部 開発設計第一課 第二課

金型の高精度化と生産性向上に対応する超高精度ワイヤ放電加工機(IMP D-CUBESシリーズ)による加工工程での超精密加工・高精度加工・性能・IoT活用・サービス(IMP Care Remote4U)等の最新機能についてご紹介いたします。形放電加工機では三菱電機独自の最先技術を活用し、生産性向上や運用最適化支援を行う次世代機種をご紹介します。最新制御装置やユニバーサルデザインを採用し、進化した加工機の適用についてご提案致します。

株式会社東京精密(小間番号 6A-511) ※同業者の受講はご遠慮ください

「最新の三次元測定技術による射出成型品の生産効率化、

及び、高精度かつ非接触測定技術のご紹介」

■4月20日(金) 13:00～14:30(第1会場)

計測課 営業技術室 佐保 智英 氏

鏡面や光沢面の高精度測定が可能な非接触ラインセンサ(LineScan2)を搭載した三次元測定機をご紹介します。また、最新の金型修正用ソフトウェア(ZRE)による射出成型品の生産効率化を

紹介いたします。更に白色干渉顕微鏡(Opt-scope)によるナノレベルの微細構造・微細形状の評価事例をご紹介します。

株式会社牧野フライス製作所(小間番号 6B-531) ※同業者の受講はご遠慮ください

「Professional 6 オペレータを時間のかかる

作業から解放する」

■4月18日(水) 13:00～14:00(第2会場)

講演者未定

通り、加工工程の確認、加工後の微細な修正など加工前と比べて多くの時間を要していた作業について、その「当たり前」を覆します。

自動車部品製造技術フェア 特別講演会

『自動車技術革新による産業への影響』

自動車産業に100年に一度の変化の波が押し寄せてきている。世界経済の発展に寄与してきた自動車グローバルに普及し、社会環境に大きな影響を与えた結果、世界規模での環境汚染と交通事故防止への対応が求められている。電動化による排出CO₂のゼロ化と自動運転による交通事故の低減が急速に推進され、自動車業界全体に新たな技術導入の必要性が高まってきた。電動化と自動運転技術は完成車メーカーの合従連衡を促進し、電子電気や情報通信等の異分野産業の参入を加速させている。既存の部品メーカーもこれらの変化に対応すべく、製品の電子化などの新技術導入への新たなものづくりの挑戦が行われている。

■講師／一般社団法人日本自動車部品工業会

技術担当顧問 松島 正秀 氏

■日時／4月20日(金) 10:30～12:00

■会場／インテックス大阪 国際会議ホール

■定員／約350名(聴講無料、事前登録制)

(講師 略歴)

1970年 東海大学工学部卒業

1977年12月 本田技術研究所入社

1991年6月 同社取締役社長

1998年6月 同社取締役

1997年6月 本田技術研究所専務取締役

2000年6月 同社取締役

2007年6月 退任



金属プレス加工技術展2018 特別講演

『自動車生産の最新事情と将来を探る』

米国巨大情報機器産業と発達途上国生産の価格競争で、家電を含む日本の電子機器産業の将来展望が厳しい中、日本の自動車産業はいつ早く生産のグローバル化を成し遂げ、日本のモノづくり産業の礎となっている。金属プレス産業も、自動車生産関係への依存度を増すばかりであり、他の製造業に比べれば明るい将来が期待される。世界企業への展開を進める日本の自動車製造と生産技術をプレス技術の観点から、その将来像の再考を試みたい。

■企画・総合司会／東京大学

名誉教授 工学博士 中川 威雄 氏

■日時／4月20日(金) 13:00～17:00

■会場／インテックス大阪 国際会議ホール

■定員／約350名(聴講無料、事前登録制)



講演1 13:00～14:20「電動化と知能化が拓くインテリジェントモビリティの時代」

講師:自動車産業株式会社 フロロ 久村 孝秀 氏

近代社会を作り上げてきた人や物の移動距離の増加によって様々な社会問題が生じてきた。それらに挑戦する産業のビジョンである「インテリジェント モビリティ」を支える「電動化・知能化」の技術の現状と課題を有する。エネルギーの多面的な活用と合わせて、それらがもたらす社会の進化と、その中長期的なインパクトを多面的に議論する。

講演2 14:30～15:30「環境安全・安全・快適さを追求する自動車を支える材料と成形技術」

講師:(元)理化学研究所 工学博士 林 央 氏

地球温暖化対策の推進(エンジンからEV、燃料電池車)、自動運転の導入など自動車は大きな変革期を迎えている。CO₂排出削減のための軽量化、衝突安全対策の車体の高強度化、高剛性化などを実現するためにハイブリッドアルミニウム合金、CFRPなどを通材適所に使うマルチマテリアル化と車体を構成する材料は多様化している。最新の車体用材料の状況とこれらの加工技術の課題を紹介する。

講演3 15:40～17:00「注目集まるインド自動車産業の最新動向」

講師:東京大学 大学院 経済学研究科 ものづくり経営研究センター 特任研究員 伊藤 洋 氏

インドは、現在世界第5位の自動車生産国であるが、2025年には日本を抜き世界第3位になるだろうと予想されている。現地の産業を2020年初期から定点観測し続けてきた社会の変化と、今年(2018年)2月に開催された「インド」の調査から得られた情報をもとにインド自動車産業の将来像を考えてみる。

試作・デザイン・解析&3Dプリンティングフェア 特別講演（特別協力：オートデスク株式会社）

『開発・製造プロセスに変革をもたらすAIおよび最新技術動向と活用事例』

3Dプリンティングの台頭により、ものづくりは急激な進化を遂げています。製造プロセスは大きく変わり、プレス、切削、成形を主体としていたものづくりは根拠から変わるようになっています。また、ディープラーニングによる人工知能の進化により、人の想像を超えた今までのような工具や、人の想像を超えた今までのような革新的な、または複雑なデザインの実現が可能になっています。ものづくりの未来とは?人の生活はどう変わっていくのか?本講演では、フランスのエアバス社がジェネレーティブデザインを活用し、軽量化と製品強度を両立させるデザインを実用化した事例や、加工精度を高める最新のものづくりの事例を紹介します。

■スピーカー／オートデスク株式会社

デジタルニュートラルファクトリーグループ

アジアパシフィック担当ディレクター 辻野 浩司 氏

■日時／4月18日(水) 13:30～15:00

■会場／インテックス大阪 国際会議ホール

■定員／約350名(聴講無料、事前登録制)



(スピーカー 略歴)

1984年に株式会社アークに入社後、主要自動車メーカー向け開発支援に従事し、常務執行役員として、国内から海外拠点における主要ポストを歴任。

製品開発プロセスにおける設計から金型製作、プラスチック成形にいたるまで、幅広い経験と知識を持つ、多くの自動車メーカー、サードパーティーと協業経験がある。

PTCジャパン社において、副社長としてCAD/CAM/CAEを多くの製造業のお客様に提案。

現在はオートデスクにおいて、デジタルニュートラルファクトリーグループアジアパシフィック担当ディレクターを務め、本社員と共に製造業界のお客様に最適な提案をするための戦略立案を担当している。

一般社団法人日本工作機械工業会 特別講演会

『工作機械ユーザ向け メンテナンス講習会』

よくある不具合事例と予防策

1



登録所

•

2